

## 協賛企業賞

### “あたりまえ”を大切に

赤坂小学校 五年 橋本明香里

今、世界では水不足が問題となっている。蛇口をひねればすぐに水が出てくる、それが“あたりまえ”という考えが植えつけられているがそれはちがう。水は私たちの知らないところで生活を支えているのだ。もし、この地球から水が無くなってしまったら私たちはどうなるのか。きっと大きな影響を受けるだろう。“あたりまえ” 出会った生活がどれほど幸せだったものか分かるだろう。

私は去年の夏、家族で黒部ダムに行った。ダムとは大量の水を高い所から流し、タービンをすごい勢いで回し発電する仕組みだ。黒部ダムのような大きな水力発電のエネルギー源もちろん水だ。もし、水不足が悪化すれば水力発電にもたずさわる問題になり、私たちも節電、節水をよぎなくされる。こうして水と水力発電はつながっているのだ。

ここで輸入のことについてふれてみる。日本は世界の中でも輸入の多い国の上位に入っている。特に食糧の輸入は例としてよくあげられる。水不足になると動植物を育てる十分な水の量が確保できなくなり、食糧不足になってしまう。そこで、もし日本が食料を輸入している国が水不足によって食糧不足になつたらどうするんだという疑問がわいてくる。だから海外で起きている水不足は決して私たちには無関係ではないのだ。

そして今では発展途上国を中心に人口が増加しているため、これからますます水が必要になる。また、地球全体の環境のことを考えると水不足がかなり深刻になってくるだろう。まさに今の地球は危険にさらされているのだ。本当に深刻な問題なのにその重要性を知らない人や自分には関係のないことだと顔をそむけている人が多い。そのことが問題だと私は思う。さらに、水の中でも私たちが安心して飲める水の量はほんの少しだけで水は本当に限りのある大切な資源の一つなのだ。汚れた水を再利用したり、海水を淡水に変えたりする技術をもっと進歩させて困っている人を助けたいと思う。

そこで私は家族で小さな取り組みをしてみた。洗い物をする時、水を出しっ放しにしないようにしたり、水のため置きをしたりした。そんな小さな取り組みでもたくさんの人たちがやろうとすれば環境問題の回復にたずさわる事が出来る。その第一歩として私が取り組みれば良いと思う。

最後のもう一度言う“あたりまえ”だと 思っていたことがこんなにも幸せであるということが分かっただろう。世界で水不足のために困っている多くの人々を助けるためにも水を大切にしようと思う。そして“あたりまえ”がどれほど幸せなことか実感し、何不自由のない幸せな生活に感謝しようと思う。